

平成28年度東洋学研究情報センター機関推進プロジェクト実施報告書

**1. プロジェクト名**

日本政治・国際関係データベースプロジェクト

**2. 申請研究者**

(氏名) 田中明彦 (所属・役職) 東京大学東洋文化研究所・新世代アジア研究部門・教授  
共同研究者

(氏名) 原田至郎 (所属・役職) 東京大学情報学環・准教授  
共同研究者

(氏名) 鄭方婷 (所属・役職) 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所  
新領域研究センター 法・制度研究グループ

**3. 研究期間**

平成28年4月1日から平成29年3月31日 (1年間)

**4. プロジェクトの趣旨、全体計画 (400字程度)**

**【プロジェクトの趣旨】**

我が国の内政・外交ならびに国際関係にかかる重要な政治文書などをテキストデータ化して公開している「日本政治・国際関係データベース」に未収録の文書をテキストデータ化し、同データベースをさらに拡充する。

データベース作成においては、以下の3点に留意する。

①我が国の内政・外交ならびに国際関係にかかる重要な政治文書などをできる限り網羅的にテキストデータ化し、HPで公開する。

②特にサミット関連文書 (G8、G20 など)、ASEAN やAPEC、COP (気候変動枠組条約締約国会議) 等の国際会議で発表された文書など、テキスト化されていないもの、特にWeb へのUP がされていないものを重視してトデータ化する。

③世界中のどんなWeb 環境においてもアクセスしやすいよう、シンプルテキストでデータ化する。

**【全体計画】**

- ・平成28年度の予算：850,000円
- ・208件 4.06MBの文書を入力しHPで公開。

(参考： 予算申請額 1,300,000円。 入力予定件数 300件 3.5MB )

**5. 今年度の研究実施状況 (400字程度)**

**【作成及び公開ファイルの種類】**

- ・TICAD 関連文書
- ・地球環境問題関連文書
- ・サミット関連文書
- ・G20 関連文書
- ・日本の安全保障政策

- ・サミット関連文書
- ・APEC 関連文書
- ・米中関係関連文書 など

#### 【データベース作成作業】

データ入力及び検証は、国際政治学の専門知識を持つ大学院生などが担当。週1回程度打合せを行い、問題点を検証しながら、重要度の高い文書を選択しながら作業をすすめた。進捗状況管理、バイト生への入力指導、サーバへのUP作業、HTMLやCSSなどの対応、HP全般の管理、データや作成マニュアルの管理などは主にURAが担当した。アクセスログをもとに、利用数を計算し、のアクセスランキングも公開している。直近のものだけでなく、約17年間の蓄積されたデータを元に総合ランキングも計算し公開している。

## 6. 今年度の研究成果の概要（400字程度）

### 【入力数、内容など】

今年度は、195件 2MB をデータベース化する予定で研究を進めたが、予定以上の208件 4.06MBのテキスト文書を入力し、HPへUPすることができた。

特に今年度は、以下の件に重点を置いて研究をすすめた。

- ① 地球環境問題文書では、パリ協定などを中心に重要文書の追加作業を行った。
- ② サミット、G20 関連文書を作成した。
- ③ 米中関連文書の外国語文書を追加した。

### 【利用者数】

今年度の利用者数は、以下の通り（2016年12月末現在）

	HP 全体	文書
4月	133845	114958
5月	132848	109762
6月	162043	140340
7月	112750	90296
8月	130936	110267
9月	132026	109572
10月	153773	126961
11月	186381	158241
12月	199049	167801
1月	153773	124303
2月	150087	115196
3月	152750	132342
(計)	1781691	1500039

\*一ヶ月の平均アクセス数は、148474件

昨年度より HP 全体のアクセス数が 8768 件増加（昨年度の HP 全体のアクセス数は 1772923 件）